

「すくすくカレンダー」による啓発活動

長浜愛児園では、「すくすくカレンダー」を保護者や園児に配布され、家庭における取組やクラスでの子どもたちへの指導の際に活用されています。

1日から31日までの「日めくりカレンダー」の形式となっていて、その中には「早寝・早起き・朝ごはん」に関連する項目もたくさん盛り込まれています。

〈ご家庭の皆さまへ〉

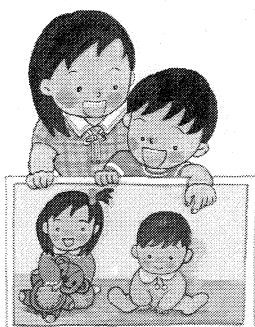
【巻頭の言葉から紹介】

いじめや自殺、虐待など、痛ましい事件が社会問題化し、幼い子を持つご家庭では子どもの将来に不安を抱いておられる方も多いでしょう。お子さんにいのちの大切さや、生きる力を身につけていただくためには、まず今のありのままのお子さんを認めてあげることからはじめたいものです。表紙のイラストは、小さい頃の写真をうれしそうに見ている姉弟の姿を掲げました。「あの頃はできなかったのに、今はこんなこともできるよ!」「ぼくもできるようになったね!」と、楽しい会話が聞こえてくるようです。何事も「やらされる」ではなく、ぼくもわたしも「やりたい」と思えたらすばらしいですね。

ご家庭では、お子さんが生まれた頃のことを思い出していただき、今の成長をともによるこんであげてください。そして、お子さんが毎日カレンダーをめくる中でお話をふくらませ、その中で何か一つできるようになったら、うんとほめてあげてください。

親と子が敬いのこころを培いながら、ともに育ちあっていくことを願いとして、この「すくすくカレンダー」を贈ります。

すくすく
カレンダー



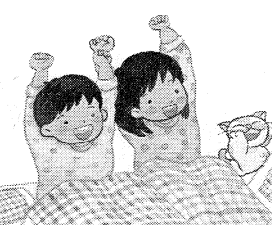
＜巻頭の言葉から紹介＞
いじめや自殺、虐待など、痛ましい事件が社会問題化し、幼い子を持つご家庭では子どもの将来に不安を抱いておられる方も多いでしょう。お子さんにいのちの大切さや、生きる力を身につけていただくためには、まず今のありのままのお子さんを認めてあげることからはじめたいものです。表紙のイラストは、小さい頃の写真をうれしそうに見ている姉弟の姿を掲げました。「あの頃はできなかったのに、今はこんなこともできるよ!」「ぼくもできるようになったね!」と、楽しい会話が聞こえてくるようです。何事も「やらされる」ではなく、ぼくもわたしも「やりたい」と思えたらすばらしいですね。

ご家庭では、お子さんが生まれた頃のことを思い出していただき、今の成長をともによるこんであげてください。そして、お子さんが毎日カレンダーをめくる中でお話をふくらませ、その中で何か一つできるようになったら、うんとほめてあげてください。

親と子が敬いのこころを培いながら、ともに育ちあっていくことを願いとして、この「すくすくカレンダー」を贈ります。

1

はやおきで
げんきな
いちにち
はじまるよ



基本行動表(朝寝直し、食事準備)の時間を身につけることから始めましょう。
くつろぎながら、朝、起きた瞬間に起きることで気分が、毎朝の活動が、楽しい気持ちになります。活動量が多い毎朝に必ず十分な睡眠(10時間)を必要です。朝の起床にも本能的なリズムがあります。起床や寝床から、安眠できる環境を整えましょう。

22


テレビや
ゲームは
じかんを
きめて



子どもが遊びたい気持ちが大切ですが、テレビやゲームはほどほどです。イメージを膨らませたり、想像力を高めることで学習や、読書や絵画やゲームなど、さまざまな活動のきっかけになります。自分の発達を促します。なるべく子供も一緒に遊んで、親子で相談して時間を決めましょう。

30

「おやすみなさい」
じにねます



乳児は睡眠不足に陥りやすいため、それだけ睡眠不足も必要です。「おやすみなさい」のサインを見逃さずおいてください。安定できる環境を整えることも大切です。寝る前にお子さんと話しかけて、おやすみの時間をカレンダーの数字に書き込んで入れてください。よく眠る子は自然と成長し、学習の活動が得意でいる自分の成長が促されます。